

「情報処理」シラバス

				校 長		教 頭			
教科	科目名	対象学科	学年	単位数	必修・選択				
商業	情報処理	情報処理科	1年	4単位	必修				
教科書	最新情報処理 新訂版 (実教出版)	補助教材	全商情報処理検定試験模擬試験問題集 2級 全商ビジネス文書実務検定試験 模擬試験問題集 2級						

1. 学習目標

ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身に付ける。
コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。
表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェア、情報通信ネットワークなどを活用した情報の処理ができる。

2. 目標とする検定

全商ビジネス文書実務検定試験 2級 (11月実施)
全商情報処理検定試験ビジネス情報部門2級 (1月実施)

3. 授業の進め方

HR クラス単位での授業で、パソコンを使用した実習と座学を行う。
担当教師は2人で、ティームティーチング(TT)で行う。
多様な授業展開を図り、習熟の程度に応じた個を生かす学習を行う。

4. 評価の観点と方法

評価の観点	内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスにおける情報の活用に関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用しようとする。 ○ビジネス情報の収集、整理・加工、伝達に情報技術を活用するための知識・技術を積極的に身につけようとする。 	学習活動への意欲や態度 レポート ノート
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ○情報をビジネスに活用するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用することができる。 ○情報を活用しやすい形に加工する工夫を行うとともに情報モラルを踏まえた適切な判断ができる。 	定期考査 学習態度 実習課題
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを用いた情報の整理や加工、情報通信ネットワークを活用した情報の収集・発信などの基礎的な技能を身に付け、情報を活用できる。 	定期考査 検定試験 豆テスト

知識・理解	<p>○ビジネスにおける情報活用の意義と役割を理解するとともに、それを実践するための知識を身に付けている。</p> <p>○ビジネスの基礎知識ならびにコンピュータのハードウェア、ソフトウェアやアプリケーションソフトウェアの活用に関する基礎的な知識を身に付けている。</p>	<p>豆テスト</p> <p>定期考査</p>
-------	--	-------------------------

5. 学習計画

月	時間	単元名	授業内容・学習のねらい	学習活動と評価
4	8	オリエンテーション 基本操作(文字入力とタビング練習)	ビジネス文書検定3級の内容を学ぶ。	課題提出 問題集提出 中間考査
5	12	第4章 ビジネス文書の作成 3節 基本文書の作成 1節 ビジネス文書と表現		ビジネス文書検定3級 (希望受験)
6	16	第3章 ビジネス情報の処理と分析 1節 基本的な表の作成	【基本】 表計算ソフトウェアの操作方法について学び、情報の分析方法や分析した結果を表現する方法、統計処理の基礎的な内容について学習する。	期末考査
7	12	2節 関数を利用した表の作成 3節 グラフの作成 4節 情報の整列・検索・抽出		
		<p>具体的授業内容</p> <p>基本的な関数(合計・平均・最大・最小) 条件の判定や件数のカウントなどの関数 相対参照・絶対参照の考え方 端数処理や順位付け、日付に関する関数 グラフの種類と特色 目的にあったグラフの作成 データの並べ替え</p>	情報処理検定3級の内容	
9	16	第3章 ビジネス情報の処理と分析	【応用】 情報処理検定試験ビジネス情報部門2級の出題内容を学習する。	中間考査
10	16	2節 応用的な関数		
11	16	3節 応用的なグラフ作成 4節 データの集計と最適解		
		<p>具体的授業内容</p> <p>【関数応用】 検索する関数や文字列を加工する関数 行列の検索 複合条件関数(ネスト) 文字列操作 文字列の結合</p> <p>【グラフ応用】 2軸上のグラフ、Zグラフ、散布図</p> <p>【表計算ソフトの機能】 ピボットテーブル、グループ集計</p>	情報処理検定2級の内容	<p>ビジネス文書検定2級以上 (全員受験)</p> <p>期末考査</p>
12	12	第1章 情報活用と情報モラル 1節 ビジネスと情報 2節 情報モラル 3節 ハードウェアとソフトウェア	社会と情報の関係を理解し、情報化社会の一員として適切な行動をするために必要なルールやモラル、マナーを理解する。	
1	12	第2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理 1節 情報通信ネットワークの概要 2節 ビジネス情報の検索と収集 3節 ビジネス情報の受信と発信 4節 セキュリティ管理の基礎	情報通信ネットワークを利用した情報の収集や発信およびウイルスへの対策などについて学習し、適切なセキュリティ管理の方法などを理解する。	情報処理検定2級 (全員受験)
2	12	第3章 ビジネス情報の処理と分析		

